

報告・協議 1

竹原高等学校と忠海高等学校を統合して設置する高等学校に係る
実施計画について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和 8 年 7 月 10 日

広島県教育委員会教育長 篠 田 智 志

竹原高等学校と忠海高等学校を統合して
設置する高等学校に係る実施計画

令和8年7月10日
広島県教育委員会

学校の理念

1 MISSION（学校の使命）

地域とともに学び、新たな価値を創り出し、持続可能な社会を創造することを目指す

2 VISION（学校が描く未来）

- ・ 「市民参画型スクール」として、地域の新たな価値創出を担う人材を育成する
- ・ 地方にいながら世界とつながる、「知の越境」により、地方都市の新しい高等学校の姿を提示する

3 VALUES（学校が大切にする価値観）

地域社会というリアルな場での対話を通じて、自分らしく生きる幸福を地域と共に育む
価値観（ウェルビーイング）を重視する

学校概要

1 課程

全日制課程、単位制

- ・ 必履修科目以外の科目を自ら選択し、自らの学びをカスタマイズする「セルフデザイン」の仕組みを可能とする柔軟な履修体系を導入
- ・ 生徒のキャリア形成につながる、柔軟な学習や活動を可能とする時間を週時程内に確保（余白の創出）

2 学科

新しい普通科（仮称）

- ・ 文理横断的な学びにより、実社会の抱える様々な課題解決に向けて探究するなどの新しいカリキュラム
- ・ 大学や企業等と連携した、リアルを追究する質の高い探究的な学び

3 入学定員

新しい普通科（仮称） 120 人

4 設置場所

竹原高等学校校地（竹原市竹原町 3444-1）

5 開校時期

令和 11 年度

6 再編整備対象校

竹原高等学校及び忠海高等学校

（令和 11 年度入学生より募集停止。なお、令和 9 年度入学生及び令和 10 年度入学生については、令和 11 年度に統合校へ異動する。）

教育の特色

1 教育指導等

ア 単位制普通科による柔軟な教育課程の実現

- ・ 必履修科目以外の科目を自ら選択し、自らの学びをカスタマイズする「セルフデザイン」の仕組みを可能とする柔軟な履修体系を導入する。
- ・ 生徒のキャリア形成につながる、柔軟な学習や活動を可能とする時間を週時程内に確保する（余白の創出）。

イ 「社会実装型」授業を具現化する学校設定教科・科目の実施

地域の企業等のみならず、都市部や遠隔地などで社会の第一線で活躍する「多様な大人」とも定期的に接続し、様々なプロフェッショナルとの協働による「社会実装型」授業を具現化する学校設定教科・科目を実施する。

ウ 高等教育機関との連携による高度な探究学習の実現

高等教育機関（広島大学等）と連携し、高大接続の教育プログラムの充実を図る。

エ 異年次開講科目の開設による多様な学びの展開

多様な価値観が混ざり合う協働的な学習環境を実現するため、学年の枠を越えて履修可能な「異年次開講」の選択群を設置する。

オ 個の進路に応じた質の高い授業の実施

生徒の進路希望に応じた科目の選択を可能とするため、学校教育法施行規則に基づく「遠隔授業による単位認定」を行う。

2 教育支援体制

ア キャリア支援スタッフの充実

- ・ 探究活動を支援するため、様々なステーク・ホルダーとつなぐコーディネーターを配置する。
- ・ 教育相談体制を強化し、生徒一人一人の心理的安定と社会的自立を支援する専任の担当教員をサポート&コンサルテーションルーム（SCR）に配置する。

イ 地域社会等との連携による共創

- ・ カリキュラムの研究開発において、大学・企業等と連携する。
- ・ 「市民参画型スクール」を実現するため、日常的に地域住民や地元自治体、企業が教育活動に参画する。

学校の施設

1 基本的な考え方

質の高い探究的な学びと大学等と連携した高度な学び、様々なステーク・ホルダーとの協働を可能とするため、必要な施設を整備する。

2 施設内容

ア 地域と繋がる「知の拠点」の創出

生徒が多様なステーク・ホルダーと協働し、課題解決や共創を実現する交流・実践の場としてリビング・ラボやラーニング・コモンズ等を整備

イ 教育相談・不登校支援体制の構築と拠点の整備

- ・ 自己理解を深め、キャリア形成（自己決定・自己実現）を目指すための支援を行う「サポート&コンサルテーションルーム（ＳＣＲ）」を設置
- ・ 不登校の小中学生を支援する県教育支援センター（スペースＳ（仮称））を、高等学校内に設置

ウ その他

上記のほか、学校の特色化・魅力化を図り、新たな教育活動を実現する上で必要な整備を実施

竹原高等学校と忠海高等学校を統合して設置する高等学校について

■ 理 念

MISSION（学校の使命）

地域とともに学び、新たな価値を創り出し、持続可能な社会を創造することを目指す

VISION（学校が描く未来）

「市民参画型スクール」として、地域の新たな価値創出を担う人材を育成する
地方にしながら世界とつながる、「知の越境」により、地方都市の新しい高等学校の姿を提示する

VALUES（学校が大切にする価値観）

地域社会というリアルな場での対話を通じて、自分らしく生きる幸福を地域と共に育む価値観（ウェルビーイング）を重視する

■ 教育の特色

教育指導等

1 単位制普通科による柔軟な教育課程の編成

自らの学びをカスタマイズする「セルフデザイン」の仕組みを導入
生徒のキャリア形成につながる、柔軟な学習や活動を可能とする時間を確保（余白の創出）

2 「社会実装型」授業（学校設定教科・科目）の実施

様々なプロフェッショナルとの協働による「社会実装型」授業を実施する学校
設定教科・科目の実施

3 高等教育機関との連携による高度な探究学習の実現

高等教育機関（広島大学等）と連携し、高大接続の教育プログラムを展開

4 異年次開講科目による多様な学びの展開

学年の枠を越えて多様な価値観が混ざり合う協働的な学習環境を実現

■ 学校概要

課 程：全日制課程（単位制）

学 科：新しい普通科（仮称）

入学定員：新しい普通科（仮称） 120人

設置場所：竹原高等学校校地（竹原市竹原町3444-1）

開校時期：令和11年度

- ・令和11年度入学者選抜より新しい普通科（仮称）の募集を行う。
- ・竹原高等学校及び忠海高等学校については、令和11年度に募集停止する。
（令和9年度入学生及び令和10年度入学生については、令和11年度に統合校へ転学する。）

5 個の進路に応じた質の高い授業の実施

生徒の進路希望に応じた科目の選択を可能とするため、「遠隔授業による単位認定」を実施

教育支援体制

6 キャリア支援スタッフの充実

探究活動を支援するコーディネーターを配置
専任の担当教員をサポート&コンサルテーションルーム（SCR）に配置

7 地域社会等との連携による共創

大学や企業等との連携や日常的な地域住民や地元自治体等の教育活動への参画により「市民参画型スクール」を実現

改革先導拠点として、成果を県全体に普及



竹原高等学校と忠海高等学校を統合して設置する高等学校について

■ 施設・整備の概要

質の高い探究的な学びと大学等と連携した高度な学び、様々なステーク・ホルダーとの協働を可能とするため、必要な施設を整備する。

地域と繋がる「知の拠点」の創出

生徒が多様なステーク・ホルダーと協働し、課題解決や共創を実現する交流・実践の場を整備

リビング・ラボ



ラーニング・commons



遠隔教室



中庭図書オープンテラス



教育相談・不登校支援体制の構築と拠点の整備

- ・自己理解を深め、キャリア形成（自己決定・自己実現）を目指すための支援を行うサポート&コンサルテーションルーム（SCR）の設置
- ・不登校の小中学生を支援する県教育支援センター（スペースS（仮称））を高等学校内に設置

サポート & コンサルテーションルーム（SCR）



竹原高等学校と忠海高等学校を統合して設置する高等学校について

■ 統合時における学籍の異動について

- ・統合校の開校時は、新しい普通科（仮称）、普通科、商業科の3学科を設置し、令和11年度入学者選抜から統合校の新しい普通科（仮称）のみ募集を行う。※
- ・令和9年度及び令和10年度に入学した竹原高等学校の普通科と忠海高等学校の普通科の生徒については、令和11年度に統合校の普通科へ転学する※※。
- ・令和9年度及び令和10年度に入学した竹原高等学校の商業科の生徒については、令和11年度に統合校の商業科へ転学する。※※

※ 竹原高等学校及び忠海高等学校については、令和11年度に募集停止とし、統合校の普通科、商業科は募集を行わない。

※※ 統合校の普通科と商業科は令和13年度に廃止する。

学校名	課程	学科	学年	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
統合校	全日	新しい普通科（仮称）	1 学年		募集開始 （統合校）			
			2 学年					
			3 学年					
		普通科	1 学年			開校		廃止
			2 学年					
			3 学年					
		商業科	1 学年					廃止
			2 学年					
			3 学年					
忠海高等学校	全日	普通科	1 学年		転学	廃止		
			2 学年		転学			
			3 学年					
竹原高等学校	全日	普通科	1 学年		転学	廃止		
			2 学年		転学			
			3 学年					
		商業科	1 学年		転学	廃止		
			2 学年		転学			
			3 学年					

